



楽しくないのは、本気になっていないから

誰もが、「勉強ができるようになりたい」「成績を上げたい」「部活動でいい成績を残したい」と思っています。でも、「そのために何をすればよいか分からない」という人が多くいます。何をすればよいのでしょうか？

ずばり、今までよりも「本気」になって勉強や部活動に取り組めばよいのです。勉強ならば、授業を受けるときの、部活動なら練習に取り組むときの心構えと態度を「本気」に変えればよいのです。「何だ、そんなことか」と思っていないませんか？でも、「そんなこと」が毎時間、毎日できている人が何人いるでしょうか。「こんなことで成績があがるのなら苦労しないよ」と思ったあなたに、次の文章を贈ります。

多くの成功者と呼ばれる人たちが、「願望を紙に書いて持ち歩くと実現する」「目標を紙に書いて目につきやすいところに貼っておくと達成できる」というようなことを言っています。でも、「たかがそんなことで、自分の思ったとおりのことが本当に実現したら、人生苦労しないでしょう」と、ほとんどの人がやりません。

それに対して、ある作家の人はこう言っています。「成功者と呼ばれている人たちは、『紙に書いた』から成功できたのではない。『紙に書くといいよ』と言われたら、素直にやってみる人だから成功できたのだと、私は思います。やらずに否定するなら、誰にもできますから。」

- ◇ なんでもいいからさ 本気でやってごらん 本気でやれば たのしいから
本気でやれば つかれないから つかれても つかれが さわやかだから (相田 みつを)
- ◇ 本気ですれば大抵のことはできる。本気ですれば何でもおもしろい。
本気ですれば誰かが助けてくれる。(長嶋 茂雄)
- ◇ 一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言い訳が出る。(武田 信玄)
- ◇ 目標がその日その日を支配する。一番高い山に登ろうと思う一步と、そうでない一步は覚悟が違う。
一番高い山には、それにふさわしい心構えがないと登れない。(渡辺 元智)
- ◇ 小さなことを重ねることが、どんでもないところへ行くただ一つの道。(イチロー)
- ◇ 考え方が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば心が変わる。心が変われば人格が変わる。人格が変われば人生が変わる。(ラルフ・ウォルドー・エマーソン)

なぜ清掃は大切なのか？

前号の続きです。自分で考えるための材料を追加します。とにかく一度、自分で考えてみてください。

- ◇ 人間の心は、そう簡単に磨けるものではありません。ましてや、心を取り出して 磨くなどということはできません。心を磨くには、とりあえず、目の前に見える物を磨き、きれいにする事です。とくに、人の嫌がるトイレをきれいになると、心も美しくなる。人は、いつも見ている物に心も似てきます。(鍵山秀三郎)
- ◇ 『ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる』私の信念を込めた言葉です。ゴミを捨てていて感じることは、ゴミを捨てる人は捨てる一方。まず捨てることはしないということです。反対に、捨てる人は無神経に捨てることもしません。この差は年月がたてばたつほど大きな差となって表れてきます。人生はすべてこうしたことの積み重ねですから、ゴミひとつといえども小さなことではありません。第一、足元のゴミひとつ拾えぬほどの人間に何ができましようか。(〃)
- ◇ ともすると人間は、平凡なことはバカにしたり、軽くあしらいがちです。難しく特別なことをしなければ、成果が上がらないように思い込んでいる人が多くいます。そんなことは決してありません。世の中のことは、平凡の積み重ねが非凡(ひぼん)を招(まね)くようになっています。(〃)
- ◇ 過ちを告白することは掃除に似ている。ほうきでほこりを払った後は、すっきりときれいになり晴れやかな気分になる。告白することは、より強くなることなのだ。(マハトマ・ガンジー)
- ◇ わたしたち一人一人が、自分の玄関の前を掃除するだけで、全世界はきれいになる。(マザー・テレサ)